



学校はあるべき姿、ありたい姿という建前を教えるところだと思ふ。生徒を預ける保護者にして、もそれを期待しているはずだ。こんな方便、あんな方便、というところが日常的に教育されるならそれは学校とはいえない。

### 面従腹背



草野 義輔

円近い税金からの年収がありながら不誠実な仕事をしていたことになる。そんな人が官僚トップの次官に上り詰めた人事がふに落ちない。私も小さな学園を経営しており、長年一緒に働いてきた職員が「実はずっと面従腹背だった」としたらこれほど情けないことはない。

### 面従腹背は周囲を

だまして仕事をしてきた、いわばうそをつきながらの仕事だったといえるのではないか。学校では決してうそをつく、と

そんな基本原則に立つ学校を指導するのが文部科学省である。その文科省で頂点の次官を務めた人が退職した途端、「私はずっと面従腹背だった」と発言したのには驚いた。「面従腹背とは、辞書に「表面では服従するように見せかけ、内心では反抗すること」とある。自分の心とは違う仕事のやり方をするだけだから、当然誠実な仕事ぶりにはならないだろう。3千万

いうことを肯定しない。本来文科省に在るべき人ではなかった、と思う。こんな人が退職後、教育関係も含めさまざまな場で面従腹背を売り文句に講演していると聞く。招く方もいかなものか、と驚いている。

(昭和学校園高校理事長・日田市)